



もり

Vol.122
2025/SPRING

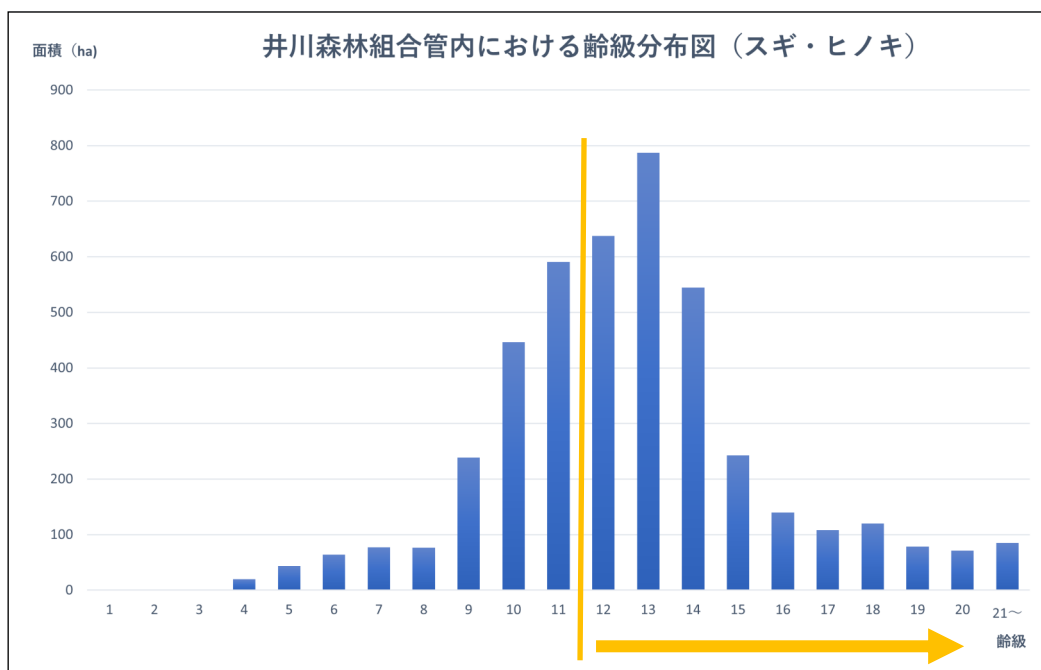
井川森林組合 広報誌

特集

長期的な森林管理にむけての一步

井川森林組合の管内には、利用時期を迎えた森林が多く存在しています。森林組合のバトン在先人たちから引き継ぐにあたり、これらの森林資源を適切に利用・循環、保持するために何が必要かを考えて行動を始めています。

井川地区の森林資源の現状



グラフの縦軸が面積、横軸が年齢級を示す

※年齢級とは、林齢を5年の幅で括った単位

令和5年森林簿を基に作成

グラフより井川地区の人工林(スギ・ヒノキ)において、林齢60年以上の利用適期を迎えている割合が過半を占めていることが分かります。また木の年齢に偏りがあり、高齢林が多く、若齢林は非常に少ないことも読み取ることができます。

この林齢分布の偏りは戦後の一斉造林に端を発するもので井川地区に限った話ではありませんが、地域の組合としては組合員・先人たちが育てあげたこの森林資源を適切に利用・循環、保持していくことを通じて、森林資源の均質化を図り持続可能な森林資源の構築を目指す考えです。



選択肢としては

皆伐・再造林(利用・資源循環)



利用間伐(部分的な利用・保育)



保持(保育の継続)



どの手法が優れているという訳ではなく、林毎の最適解を模索していく必要がある。

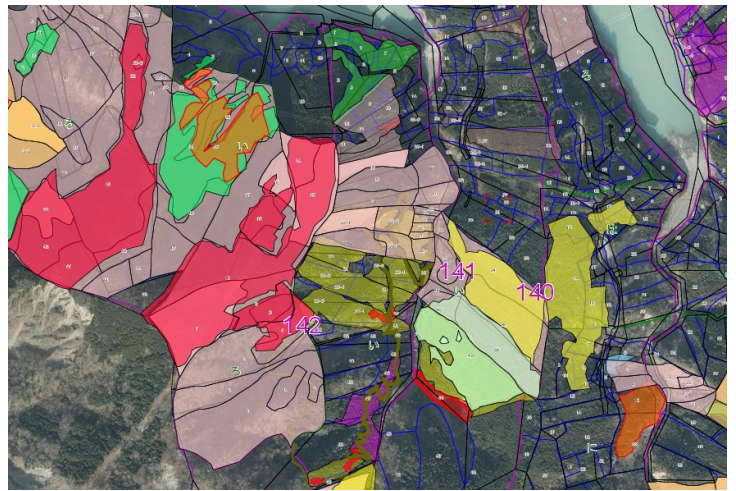
森林資源循環のための取組み

森林資源を循環させるためには、省力化・低コスト化が必須となります。現状、木材価格はまだまだ低迷と言っても差し支えがない水準で推移しており、特に市場からの距離がある井川地区では丸太の運搬費用が重くのしかかってきます。また、人口が減少していく局面を迎えるなかで、省力化は必要不可欠と考えており、その取組みの一部を紹介します。

・山林管理システムの導入

これによりパソコンで山林の地理情報（地形図、航空写真、CS立体図等）を確認できるほか、測量データを直接取り込むことが可能になり、施業履歴の管理・今後の計画管理が大幅に省力・効率化しました。

また最新のGNSS測量（GPS測量）にも対応しており、山林管理・整備計画の立案・測量などをおよそ1/2の労力で行うことができるようになりました。



管理システムの操作画面

測量データや施業履歴を取り込み、視覚的に管理することができる

【PR】組合員の山林を調べることもできます。お困りの際は組合まで

・搬出システムの見直し

地域事情を考慮した搬出方法の見直しを行っています。従来は、フォワーダーという林業専用機械を用いての搬出が主でした。しかし車両費が高額なこと、現場までの運搬費や燃費が悪い等現場での運用コストが高い問題がありました。

令和7年は低コストでの搬出を可能にするため、市販車に林業向けの改造を施した3tトラックでの木材搬出を実地検証しています。現場はまだ稼働中ですが、肌感覚としては地形条件による制約はあるものの従来より低コストでの搬出に可能性を感じています。



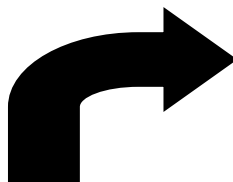
この他にも、ドローンを用いた森林資源量調査（広報誌120号紹介）やドローンを用いた林業資材の運搬を検証しています。

森林資源循環のための取組み②(地域フォレスターの育成)

森林資源を循環させるためには、継続的な人員確保が課題となります。井川森林組合では、井川の暮らしに興味がある人、自然が好きな人を積極的に雇用・育成することで、森林整備能力の維持と向上に努めています。

緑の雇用制度を利用して、3年かけて人材育成をおこなっています。また林業作業に適さない雨天時は、事務所で担当事業の事務的な処理も行います。

この兼業により、現場と事務の両方に知見を持った人員確保を目指しています。



※地域フォレスター・・・特定の地域に定住して、その地域の森林整備を行う林業従事者のこと

・従業員向け、借り上げ住宅の整備

地域フォレスターを雇用するにあたり、課題となるのが住宅問題です。静岡市でも取組みが進みつつありますが、市内からの移住者などはその制度から漏れやすいのが実情です。組合では借り上げ住宅を整備することで、井川で働きたい人が、井川で暮らしていくための基盤づくりを推進しています。



『お知らせ』令和7年度の採用計画について

令和7年度も森林整備を中心に組合業務を担う職員(正社員)を2名募集します。

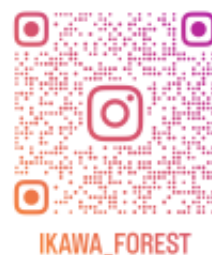
森林の仕事ガイダンス等の求職者説明会に積極的に参加する他、組合HPやSNSでの情報発信に努めて参ります。また移住後の仕事と生活環境のイメージを掴むことができたという好評だった林業インターンも引き続き実施をします。

🔊 Instagram 始めました



ikawa_forest
井川森林組合

日々、井川の山々に繰り出す森林組合の職員が、林業に限らず、森林や暮らしのことまで、井川での日常を投稿していきます。



IKAWA_FOREST

・「未来への森林づくりタウンミーティング」へ出席しました

静岡県独自の森林整備制度、森の力再生事業の第2期計画(H28年度～令和7年度)が終了することから、事業成果の報告と今後の事業のありかたを検討するための上記タウンミーティングが開催されました。井川森林組合として参加すると共に、管内には依然として手入れ不足の森林が多く存在すること、また地域森林の公益性を継続的に維持するために「森の力再生事業」の継続を希望する旨を発言しました。

【井川地区での整備実績の一例】



整備前(雪害被害直後)



整備後(倒木片付を実施)



整備後10年経過

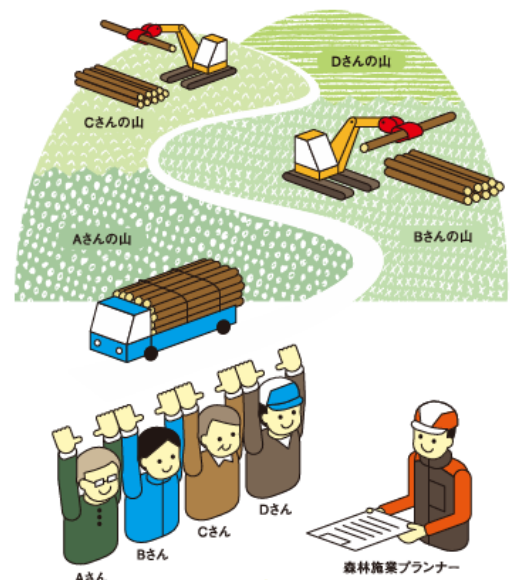
・「静岡市持続可能な森づくり研究会」へ参加しています

静岡市は適正な森林経営管理の指針となる「(仮称)静岡市森林経営管理計画」を策定するため、静岡市持続可能な森づくり研究会を発足させました。井川森林組合からも代表理事 森竹史郎が委員として参加しており、令和7年度は11回の意見交換が予定されています。この研究会を通じて、井川地区の森林の現状及びその強みを静岡市に伝えていくことで、井川地区での持続可能な森づくりへの取組を推進していきます。

・森林施業プランナーを育成します

林業の仕事には、現場作業だけでなく、森林所有者への施業提案などを行う役割(森林施業プランナー)があります。井川森林組合では、地理的要因により特殊な現場が多いことから、長年各現場リーダーがこの役割を兼務していました。

しかし林業には集約化が大きな流れとしてあるため、専門知識を有したプランナーによる取りまとめの重要性が高まっています。本年度より事業課主事 宮崎亮紀を育成研修へ参加させることで、豊富な現場経験を基に、安全で効率的な施業を計画できる体制を整えていきます。



集約化は森林所有者への利益還元につながります

REPORT

森づくりの現場から

春の植林作業を実施しました

今年もこの時期がやってきました。春の山仕事の代表、植林。

井川森林組合では、令和5年度より山林所有者の協力を得て大日峠付近の山林において資源循環を目的とした皆伐と再生林を実施しています。

苗木が受注生産のため、伐採がやや先行していましたが、本年度からは植林も平行して実施し、5年で10haを再生林する予定です。



もしかしたら、この木を伐るときまで現役かも知れない松山君

『ポイント』井川森林組合、全員集合！！

植林作業は、時間との勝負。苗木屋さんから届いた苗は、乾燥に弱いため、お天気と相談しつつもできるだけ短い日程で植える必要があります。

そのため、今年のような面積や植栽本数が多い現場を動かすときは、従業員で現場に出ることが出来る人は、もれなく全員集合して作業にあたります。普段から森林整備に従事している人、県民の森スタッフ、事務所スタッフ、、、普段は、一緒に作業することが無い人も一緒に作業できるので、賑やかで楽しい作業です。



応援組の人には、しっかり植え方を教えます

聖沢登山口 森林整備作業実施中

南アルプス、聖岳への登山口周辺山林において、森林整備を実施しています。今回は、やや強めの間伐を行い、一気に林内を明るくし、下層植生の発生を促すことで、森林の持つ公益的機能の回復を目的としています。

4月の作業開始時に降雪があり、真っ白な中での作業入りになるなど、奥山ならではのハプニングはあるものの森林整備を奮闘中です。



樹種転換作業も実施中

この現場の一部では、針葉樹から広葉樹への樹種転換作業も併せて実施しています。

現在は、広葉樹が育つためのスペースを確保するため、択伐という手法での伐採を実施中です。この後は、防護柵を設置し広葉樹が安心して生育できる環境を用意します。肝心の広葉樹稚樹は、伐採時に残存させた広葉樹からの自然落種+ミズナラを植栽していく予定です。

本事業では、静岡県独自の森林整備制度「森の力再生事業」を利用して、整備を行っています。

『お知らせ』 新しい仲間が活躍中

昨年度の3月に組合に新しい4t車が仲間入りしました。前車の老朽化に伴う更新ですが、安全運転支援装置やバックモニター等が装備された最新型が導入されました。

おかげで井川の狭い山道でも、安全にすれ違い等が出来るようになり、運転手の負担が大きく減りました。現在は聖沢登山口での伐採木の搬出に活躍してくれています。



令和6年度静岡市森林環境基金事業の助成を利用

発信

渡船船長を募集しています

井川森林組合では、地域還元の1つとして静岡市より井川湖渡船業務を受託して運営しています。船長の1人から世代交代の申し出がありましたので、新たな船長の担い手募集を始めました。



～井川湖渡船について～

井川湖が出来た際に、集落と対岸を結ぶ交通手段として整備されました。

近年は定期航路や周遊航路が設定されており観光での利用も増えています。特に新しい渡船場の整備やランチクルーズなどの各種イベントが開催されるなど、今後井川地域の観光資源としての発展が期待される職場です。

雇用条件

基本給 : 日給 8,000円～

勤務形態 : 3日連続勤務し1日休日(定期便航路運行中)

2日連続勤務し2日休日(定期便航路運休中)

勤務時間 : 8:00～17:00までのシフト制

所定労働時間6時間30分

福利厚生 : 雇用・健康・厚生等 法定一式

※詳細はお問合せください。連絡先:総務課 佐野 裕



女性船長も
活躍しています！

お知らせ

通常総会開催について

6/24(火)午前10:00より、井川支所「大ホール」にて開催します。当日は多くの組合員のご参加をお待ちしております。※詳細は別紙「第74回通常総会 招集通知書」をご確認ください。

お願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は、森林組合へご一報ください。

発行元

井川森林組合

〒428-0504

静岡県静岡市葵区井川544番地の7

TEL

054-260-2204

FAX

054-260-2678

メール

ikawa-fa@khaki.plala.or.jp



井川森林組合HP